

一般急性期病院でのアルコール依存症患者に対するBIの効果

Cobain et al. (2011) Brief interventions in dependent drinkers: a comparative prospective analysis in two hospitals. Alcohol Alcohol 46.

【研究方法】

介入群は、急性期病院を受診した72%が重症の区分に属するアルコール依存症患者（AUDIT平均34点）。

【介入方法】

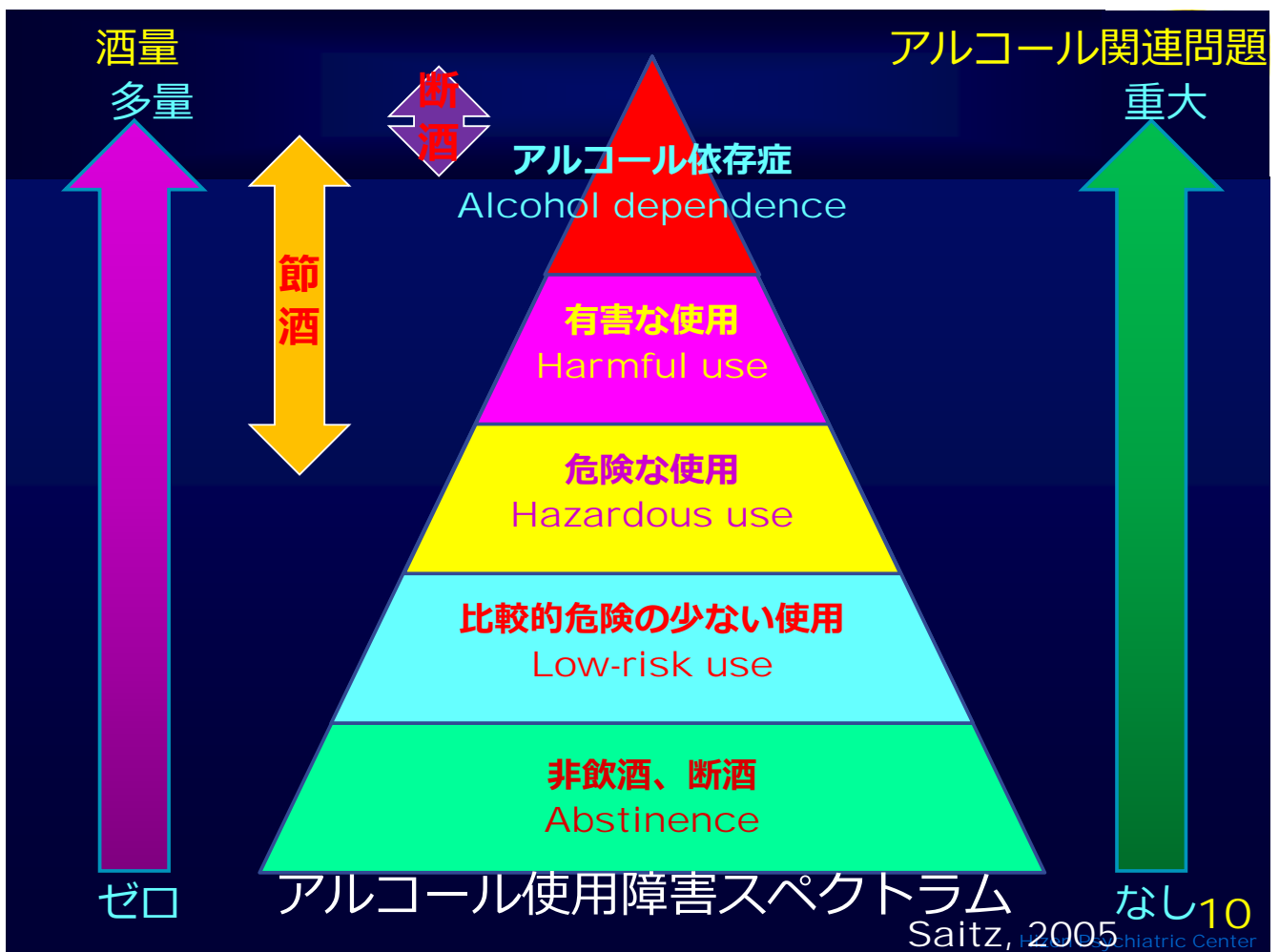
Alcohol Specialist Nurseが15-20分のBIを複数回。

【結果、考察】

本研究の6ヶ月後の結果は、重症の依存症患者の49%がもはや依存ではなくなり、40%は断酒していた。BIは、軽症～中等症の依存症にしか効果がないと言われるが、このことが必ずしも正しくはないことを示した。

9

Hizen Psychiatric Center



Hizen Psychiatric Center



「断酒のみのアルコール医療」から「節酒から始めるアルコール医療」への流れの背後にあるもの

- ① 「健康日本21」でも謳われ、うつ・自殺、飲酒運転、生活習慣病対策でも求められている多量飲酒者対策。
- ② 飲酒量低減のための介入技法(BI)の開発、有効性を示すエビデンスの蓄積。
- ③ AcamprosateをはじめとするAnticraving agentの導入に向けた動き。



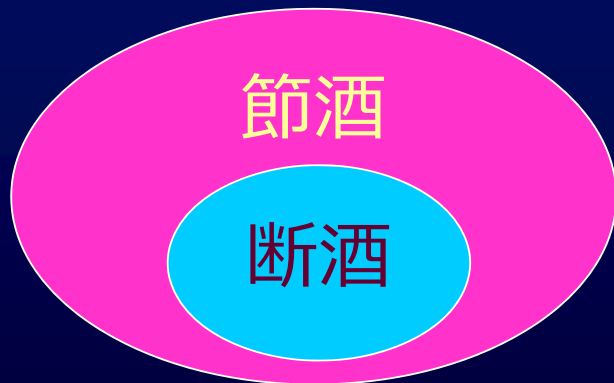
アルコール医療のパラダイムシフト

これまでの
アルコール医療



重症依存症患者に対して
精神科病院で行う
3ヶ月間の断酒治療

これからの
アルコール医療



一般医療、職域で多量飲酒者に対して行う節酒治療
+
精神科病院での断酒治療

アルコール依存症に対応するためのBIの応用 Stepped Care Intervention



Step① : 40分間のセッションで行動変容カウンセリングを訓練した看護師が行う。4週後に同じ看護師がフォローアップのセッションをする。ここで、21単位/週以上の飲酒あるいは4週間に10単位/日以上以上の飲酒日があった者はStep②へ進む。

Step② : 50分間4回の動機付け面接治療を熟練のアルコールカウンセラーが行う。4週間にわたって1回/週のセッションで行う。最後のセッションから4週間後にフォローアップのセッションに参加する。ここで、21単位/週以上の飲酒あるいは4週間に10単位/日以上以上の飲酒日があった者はStep③へ進む。

Step③ : 専門家による介入を地域アルコール症チームから受ける。治療の期間や濃密さに制限はない。必要であれば、解毒、入院治療、外来治療、再発予防や薬物治療を受けられる。緊急にStep③に導入する必要がある場合は、途中のStepを省略してStep③に導入できる。

Drummond C et al: Effectiveness and cost-effectiveness of a stepped care intervention for alcohol use disorders in primary care: pilot study. Br J Psychiatry 195(10): 2009

Hizen Psychiatric Center



早期介入の概要

Screening and Brief Intervention

Brief Intervention



ブリーフ・インターベンションには、定訳はありませんが、「簡易介入」や「短期介入」と訳されることもあります。ブリーフ (Brief) という単語は、「短い」という意味を有しますが、どの位の短さ (回数、時間) でしょうか？

【回数】

Babor & Grant (1994) の定義

- Minimal: 1回のみのコントクト、● Brief: 1～3回のセッション
- Moderate: 5～7回のセッション、● Intensive: 8回以上のセッション

【時間】

- Minimal: 5分以内
- Brief: 30分以内 (20～30分のはbrief counsellingと呼ぶことあり)

“brief”の基準は、時間が15～30分、回数は1～4回(Cobain et al, 2011)

15

Hizen Psychiatric Center

Brief Intervention開発の歴史



WHOの多国間共同研究事業としてのSBI

- ① **Phase I** (1982-87): プライマリーケアの現場で hazardous and harmful drinkerを検出する信頼性と有効性の高いスクリーニングテスト (AUDIT) の開発
- ② **Phase II** (1987-92): screening and brief intervention (SBI)の有効性を検証する多国間共同研究
- ③ **Phase III** (1993-99): 一般科医療従事者 (general medical practitioners) に対するSBI実践の働きかけ
- ④ **Phase IV** (2000-07): プライマリーケア (primary health care) でのSBIの普及

WHO Collaborative Project on Detection and Management of Alcohol-related Problems in Primary Health Care

16

Hizen Psychiatric Center